

## 第3回 幼・保・小合同研修会

と き 令和元年7月30日(火) 午後3時～午後4時40分

ところ 郡山市総合福祉センター5階集会室

### 「幼児期の学びと小学校の学びの連続性について」

～子どもの資質・能力を活かすための支援～

東京学芸大学 准教授 福元 真由美 先生

講師の福元先生は、総合教育科学がご専門で、1990年～2010年代の生活科教科書における「遊び」の配置と内容の変容について、幼児期の教育と小学校教育の接続の観点から研究を進めて来られました。

保育者は、子どもたちが遊びを通して表出する資質・能力をとらえ、様々な経験を通して育むマネジメント力が求められていること。教員は、幼保で育んだ3つの資質・能力を基に教育活動を行う必要があることを、映像資料を使い子どもたちの学びを確かめながらお話しいただきました。

#### 《講演内容》

- 1) 幼児期から就学期の移行への関心
- 2) 幼児期の教育で育みたい資質・能力
  - ・ 幼児の資質・能力を育む保育
- 3) 幼児期の学びと小学校の学びをつなぐ

#### 1) 幼児期から就学期の移行への関心

- ・ 幼児期に、認知・対人関係・自己調整の力を発達させるプログラムをいかに組むか。
- ・ 質の高い保育を受けた子どもは、その後の学力に関わってくる。  
認知能力(IQ)・学習への動機付け・自制心を高めていく。
- ・ 幼児期の「遊び」という学習形態への関心(小学校の「授業」という学習形態に何がどうつながるか)
- ・ 知識の内容や量だけではない、学ぶ意欲や学ぶ態度や学ぶ習慣をいつ、どのように形成するかという問題意識 ～幼児期の充実した体験を小学校へ有機的につないでいく～

#### 2) 幼児期の教育で育みたい資質・能力

- ・ 教育課程全体(幼小中高)の方向性

○各学校段階及びすべての教科などについて共通する、育成を目指す資質・能力を明確化する。

○資質・能力の3つの柱

- 1 知識及び技能が習得されるようにすること
- 2 思考力、判断力、表現力等を育成すること
- 3 学びに向かう力、人間性等を涵養すること

○幼児期の教育で育みたい資質・能力

- ・ 小学校以降の教科指導で育むものではない



- ・遊びや生活の中で・・・

- 感動を働かせてよさや美しさを感じ取ったこと
- 不思議さに気づいたこと
- できるようになったこと

幼児自身がこれらを使い、試したり、いろいろな方法を工夫したりすることなどを通して育む  
小学校以上へつなぐ



- ・知識、技能の基礎
- ・思考力、判断力、表現力等の基礎
- ・学びに向かう力、人間性等

※ 遊びと生活で3つの柱がどのように育っているか捉えるまなざしと、それらを活動を通してどのように育むか考えて保育をデザインすることが求められている。

### 3) 幼児期の学びと小学校の学びをつなぐ

○言葉による見方・考え方をつなぐ

○幼児期の充実した経験を通して育まれる資質・能力について、幼小を通して見直しを図っていく

#### 《アンケートから》

- ・子どもたちが遊びの中から多くのことを学べるような環境を作っていきたい。
- ・事例があり、話を聞きながら見たり考えたりすることができよかった。
- ・言語に関しての子どもたちの連携の姿を映像で見たが、レベルが高いと感じた。
- ・子どもたちの遊びの様子を具体的にみることができ、とても分かりやすかった。実践してみたい。
- ・事例を基に分かりやすい内容でとても参考になった。幼児の資質と能力を育む保育の大切さを改めて考えさせられた。これからの保育がよりよいものになるよう子どもたちと向き合って保育に関わっていきたい。
- ・実際の例があったことで、保育の中で工夫すべきところが分かりやすかった。
- ・改めて幼児期の学びがいかに大切か、その後の成長にどれくらい影響するのか知ることができた。
- ・小学校では学べないことを今伝えていきたいと感じた。園でやっている活動の中で、友達とやりとりしながら進めていけることは、積極的に工夫して保育していこうと思った。
- ・保育の映像を見ながら話を聞いて、どのような力が育つのか考える機会になった。
- ・3つの柱の中にあるそれぞれの力をどのように育てていけばよいのか漠然としていたが、遊びの中から学びの繋がりを見出すことを知り、保育の中でどの瞬間も子どもたちにとって大切なものだということを改めて感じた。
- ・幼児期の経験が小学校入学後も活かされていることが分かり、日々の保育にもっと責任を持って取り組まなければならないと感じた。
- ・3歳児未満の保育園ではあるが、遊びと学びの大切さを改めて感じた。
- ・どのように幼保から小学校へとつないでいけばよいのか学ぶことができた。
- ・質の高い保育が子どものその後の発達に大きな影響を与えていることを知ることができ、自分の関わりや言動に伴う責任を実感した。小学校進学に向け、「3つの柱」を基に見通しを持った楽しい活動を展開できるように努めていきたい。